

松江工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	地理学概論 2	
科目基礎情報						
科目番号	0038		科目区分	一般 / 必履修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	人文科学科・数理科学科		対象学年	2		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	地理探究 (二宮書店) 最新地理図表 G E O (第一学習社) ポケットアトラス世界地図帳 (平凡社)					
担当教員	鳥谷 智文					
到達目標						
<p>1. 現代世界の最新情報を把握し、各地域に関して地理的な側面から理解できる。</p> <p>2. 世界の自然・人文環境を一つのシステムとして把握し、基本的な法則を理解できる。</p> <p>3. 地図や統計資料を読んで分析し、自分の知識と組み合わせて状況を判断することができる。また、思考・判断した事柄について適切な方法で表現することができる。</p>						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1	現代世界の最新情報を把握し、各地域に関して地理的な側面から正しく理解できる。	現代世界の最新情報を把握し、各地域に関して地理的な側面から理解できる。	現代世界の最新情報を把握し、各地域に関して地理的な側面から理解できない。			
評価項目2	世界の自然・人文環境を一つのシステムとして把握し、基本的な法則を正しく理解できる。	世界の自然・人文環境を一つのシステムとして把握し、基本的な法則を理解できる。	世界の自然・人文環境を一つのシステムとして把握し、基本的な法則を理解できない。			
評価項目3	地図や統計資料を読んで分析し、自分の知識と組み合わせて状況を判断することができる。また、思考・判断した事柄について適切な方法で正しく表現することができる。	地図や統計資料を読んで分析し、自分の知識と組み合わせて状況を判断することができる。また、思考・判断した事柄について適切な方法で表現することができる。	地図や統計資料を読んで分析し、自分の知識と組み合わせて状況を判断できない。また、思考・判断した事柄について適切な方法で表現できない。			
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 G2 学習・教育到達度目標 G7						
教育方法等						
概要	<p>1. 国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養うことを目標に、本科目では、広く地理的認識を養い、現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえ考察する姿勢を身につけることを目的とした授業を行う。</p> <p>2. 地理学概論 1 の内容をふまえて、主に世界の各地域と現在の地球的課題について学習する</p> <p>3. 授業の展開によってはシラバスの内容を前後変更して行う場合がある。</p>					
授業の進め方・方法	<p>1. 適宜、復習プリントを配布するので、授業で学習した部分については復習しておくこと。</p> <p>2. 定期試験では授業やプリントで触れた内容全てが範囲となる。そのため、普段より重要な事項や参照したページをメモするなどの工夫をしておくこと。また、重要な事項については説明ができるようになること。</p> <p>3. 資料集や地図帳には面白い情報が多いため、授業では取り上げない箇所も積極的に読んでおくことよい。</p>					
注意点	<p>1. 定期試験80%、提出物等 (提出状況と内容により採点) 20%で評価する。</p> <p>2. 総合評価が50点以上で合格とする。</p> <p>3. 再評価試験(もしくは再評価レポート)は実施する。ただし、課題等の提出物を全て提出し合格していることを受験の条件とする。</p>					
授業の属性・履修上の区分						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
後期	3rdQ	週	授業内容	週ごとの到達目標		
		1週	東アジア 2 教pp.196-205	現代の東アジア (朝鮮半島) について理解する		
		2週	東南アジア 教pp.214-221	現代の東南アジアについて理解する		
		3週	南アジア 1 教pp.222-229	現代の南アジアについて理解する		
		4週	南アジア 2 教pp.222-229	現代の南アジアについて理解する		
		5週	西アジア・中央アジア 教pp.230-237	現代の西アジア・中央アジアについて理解する		
		6週	アフリカ 教pp.238-245	現代の北アフリカ・サブサハラアフリカについて理解する		
		7週	ヨーロッパ 1 教pp.248-257	現代のヨーロッパについて理解する		
	8週	ヨーロッパ 2 教pp.248-257	現代のヨーロッパについて理解する			
	4thQ	9週	中間試験			
		10週	中間試験の返却・解説	ロシア 教pp.258-263	現代のロシアについて理解する	
		11週	アングロアメリカ 1 教pp.264-271	現代のアングロアメリカについて理解する		
		12週	アングロアメリカ 2 教pp.264-271	現代のアングロアメリカについて理解する		
		13週	ラテンアメリカ 教pp.272-287	現代のラテンアメリカについて理解する		
		14週	オセアニア 教pp.130-135	現代のオセアニアについて理解する		
		15週	期末試験			
16週		試験の返却・解説	現代の諸課題	現代の諸課題について理解する		
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
評価割合						
		定期試験	提出物等	合計		
総合評価割合		80	20	100		

基礎的能力	80	20	100
專門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0